

サマリーレコード（骨子）

- 平成 22 年 3 月 29-31 日、タイ・バンコクにおいて、ASEAN 各国及び日本側の高級事務レベル及び産業界の代表者等の参加を得て、第 2 回日・ASEAN 情報セキュリティ政策会議を開催。
- 日・ASEAN 間の、経済関係の深化のための情報セキュリティの重要性を改めて確認。
- 前回会議以降に行われた取組や結果を認識及び評価し、日・ASEAN 間でセキュアかつ信頼性のあるビジネス環境の構築のため、このような協力が引き続き緊密に行われるべきことを強調。
- 日・ASEAN は、それぞれの国における情報セキュリティ政策の現状について報告。
- 日・ASEAN 間の情報セキュリティに関する協調した活動を強化するため、相互理解の重要性を強調。これに関連して、情報セキュリティ分野における日・ASEAN の連携枠組み案について議論・一致。
- 関連する日・ASEAN 間の大臣会合における日・ASEAN の連携枠組み案の報告又は承認のため、必要な措置をとることを表明。
- 連携枠組みにおける政府のネットワークセキュリティ、人材育成、情報セキュリティに関する啓発等の協力の新たな分野を認識。2010-2011 年における共同の取組に関して議論。日・ASEAN からの更なる支持を呼び掛け。
- タイ産業界からの発表を評価。情報セキュリティにおける民間部門の不可欠な役割を認識。政府・民間の更なる協力を奨励。
- 地域への技術知識の移転及び高付加価値・知識経済の構築に向け、情報セキュリティに関する適切な措置がとられるべきことを強調。情報セキュリティを向上させるため、①CSIRT 間の更なる協力、②企業に情報セキュリティ対策を実施させるためのインセンティブを与える政策の構築、③情報セキュリティ上の脅威を低減するためのISPの協調された取組、④情報セキュリティ上の脅威の悪影響を低下させるための活動の提言、が必要。
- 情報セキュリティに関する意識啓発に関する提言、特に連携枠組みにおける取組に関するウェブサイトの構築を歓迎。
- 目標・措置を達成するために前回会議で表明された一般原則、特に共同の取組を実施するための政府の主導的な役割を再確認。
- 第 3 回日・ASEAN 情報セキュリティ政策会議の平成 23 年 3 月までの日本開催を検討するとの日本の提案を歓迎。
- 参加者の貢献及び会議を開催したタイ政府の主導的役割への謝意を表明。